

マタギ

後藤俊夫 監督作品

1982年/日本/カラー/103分/DVD上映



(C)青銅プロダクション

2024年2月10日(土)

[上映時間] ① 11:30
② 14:10

[会場] 横浜市南公会堂

『 マタギ 』

【 物語 】

秋田県のマタギの里、根子村に住む平蔵爺いは、古いしきたりを守り続けるただ一人のマタギだ。爺いの頬にはザックリ割れた傷跡が刻まれている。その傷は、数年前に、立ち上がると三メートルもある巨熊に襲われた時のものだ。だが村人たちは、誰れ一人としてその話を信じなかった。そんなドデカイ熊を見たという話は、いままで一度もないからだ。—アイツは、わしがやる—。村人たちの笑いをあとに、今年も爺いは、厳しい冬山に一人で入り始めた。

平蔵の孫の太郎は、旧式の銃に、たった三発の弾丸しかもたずに山立ちする、そんな爺いの強さに怖しさと頼もしさを感じていた。ある雪の日、マタギ犬シロに仔犬が生まれた。太郎は一番ひ弱な落ちこぼれ犬のチビを育てることにした。連日の厳しい特訓と、太郎の愛情で、チビは逞しいマタギ犬に成長した。その頃、町に熊の被害が出始めた。傷を調べる爺いの目が光った、アイツだ！巨熊を追って爺いと太郎とチビは、雪深い山中に入った。荒れ狂う吹雪を乗り越えて、二人はついに宿敵の巨熊をみつけたのだった…。

【 キャスト 】

関口平蔵・・・西村晃
太 郎・・・安保吉人
姉・より子・・・林優枝
父・岩吉・・・山田吾一
鈴木幸吉・・・稲葉義男
審 査 員・・・矢口高雄
村の駐在・・・伴淳三郎

【 スタッフ 】

監督・原作・・・後藤俊夫
脚本・・・大和屋竺/後藤俊夫
制作・・・小島義史
音楽・・・羽田健太郎
撮影・・・山崎堯也
美術・・・大谷和正
照明・・・豊島良三/平田光治/山本嘉治
録音・・・小野寺修



●**マタギ**(又鬼)は、日本の東北地方・北海道から北関東、甲信越地方にかけての山間部や山岳地帯で、伝統的な方法を用いて集団で狩猟を行う者を指す。「狩猟を専門とする」ことがその定義とされるものの、現代においては単にマタギ郷として有名な土地に生まれ、猟銃を使う猟を生業とする猟師を指すのが一般的である。獲物は主に熊であり、他にはアオシシ(カモシカ、後述)やニホンザル、ウサギなどが狩りの対象となる。(出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』)

<<<横浜キネマ倶楽部のページ>>>

第76回『風船』(2023.11.18) アンケート結果

来場者数:140名 アンケート回収数:60枚 回収率:42.9%

○作品についての評価

(とても良かった) 29人(48.3%)

・時代を感じさせる映画でした。夜行列車・町の風景・銀座の風俗等。配役をもう少し詳しくパンフに載せてほしかった。久美子の自殺が何故なのかよく分からない。男に冷たくされたから?短絡的な気がする。

・若き日の北原三枝さんがすてきでした。

・知性がにじむ森雅之のラストシーンは最高でした。初老の男にピッタリ。その他の皆さんも適役で楽しむことが出来ました。内容も最後に引き締めて終了。映画として見応えがありました。

・10回以上鑑賞しているが見るたびに新しい発見がある。

・森雅之と芦川いづみが出色であった。森雅之の中年の父、芦川いづみの娘役が配役としてピッタリでした。

・感動しました。心に残る作品になりました。何か所も泣きました。

(良かった) 24人(40.0%)

・森雅之さんが良かった。女性(房子・久美子・ミキ子)の描き方が類型的な気がします。

・森雅之の役名が村上春樹というのがびっくりした。

・昔の日本映画の背景が懐かしく皆言葉が美しかった。

・今の時代から見ればパワハラセクハラなど満載の陳腐な作品と思いつつ当時のスター登場が懐かしく嬉しい。脚本に今村昌平が加わっているのも興味深い。

・言葉が聞き取りにくかった。(昔の映画なのでしかたないかも)

・昭和の愛人と、社長の長男という立場のあり方、家族の有り方の姿と、今の世代の考え方との違いに驚いた。

(あまり良くなかった) 4人(6.7%)

・やむを得ないのかもしれませんがセリフが聞き取りづらかった。

・古すぎていろいろついていけなかった。

(良くなかった) 0人

(無回答) 3人(5.0%)

・内容の意図はよくわからなかったが昭和初期の時代の日本社会の構造や日本人の女性に対する扱いがよく判る作品だった。映像は素晴らしい。監督の感性の高さを感じます。

・懐かしく思った。

○講演についての評価

(とても良かった) 20人(33.3%)

・パワーポイントを用いて分かりやすい説明でした。

・『風船』の背景が微に入り細に入り、より解説され勉強になりました。

・色々なこと、原作者、監督の考えが興味深かったです。

(良かった) 22人(36.7%)

・二つの風船とは何かについて話してほしかった。

(あまり良くなかった) 3人(5.0%)

・良く調べられているとは思いますが、トークショーとしてはテンポとポイントが良くない。

・画面で見せてくれたのが小さくて全く見えなかった。

(良くなかった) 0人

(無回答) 15人(25.0%)

…アンケートにご協力ありがとうございます…

<< 次回 第78回上映会のお知らせ >>

『ニッポン国 古屋敷村』

2024年5月6日（月・祝）

上映時間 12:30

（途中15分間休憩あり）

〔入場料〕 前売 1,000円 当日 1,300円

障がい者 1,000円（介助者1名無料）

〔会場〕 横浜市南公会堂
南区総合庁舎内3階
045-341-1261

横浜市営地下鉄「阪東橋」駅下車 徒歩8分

京浜急行「黄金町」駅下車 徒歩14分



横浜市南公会堂地図

… 1982年/日本/カラー/213分/DVD上映/ドキュメンタリー …

監督：小川紳介 撮影：田村正毅 音楽：関一郎 製作：伏屋博雄
題字：庄司孝志 詩：木村迪夫 画：藤森玲子

横浜に映画ファンの思いが反映される映画館を作ろう！

横浜キネマ倶楽部は、横浜で永年親しまれてきた映画館の相次ぐ閉館を惜しむ映画ファンが集まり、2005年5月発足し、「横浜に映画ファンの思いが反映される映画館をつくる」ことを目標に掲げて活動を続けています。会の存在をより多くの皆様に知っていただき、映画館をつくる目標に一步でも近づきたい、それと同時に良質な映画を上映することで、映画ファンの交流の場を提供したい、という思いで年4回の上映会を行っています。

横浜キネマ倶楽部会報

横浜キネマ倶楽部 発行



…横浜キネマ倶楽部連絡先…

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2
かながわ県民活動サポートセンター No.269
TEL:080-2554-8023 (10時~18時)
Eメール yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp
HPアドレス: <https://ykc.jimdofree.com/>